

課題番号：R3-258
研究課題名： 肺がんの遺伝子異常、分子標的、薬剤感受性を予測する、組織形態、バイオマーカーの探索
<p>&lt;1. 研究の目的&gt;</p> <p>本研究では、病理医の観点から、肺がんにおける組織形態と、バイオマーカーの発現に着目し、その背景にある遺伝子変異、発現異常を個々の癌症例で明らかにするとともに、浸潤・転移、薬物感受性、がん周囲の微小環境および構成する細胞との相互関係など、がん細胞のもつ個性（生物学的な特性）との関係をより明確にすることを目的としています。</p> <p>とりわけ、本研究では空間的トランスクリプトーム解析を用いて、Large cell neuroendocrine carcinoma (LCNEC)の組織形態と、YAP-1を中心とする遺伝子発現プロファイルとの関連性を解析します。</p>
<p>&lt;2. 研究対象者&gt;</p> <p>西暦 1996 年 4 月～ 2027 年 3 月に当院で病理診断を受けた患者さん</p>
<p>&lt;3. 研究期間&gt;</p> <p>倫理委員会承認後～2027年3月31日</p>
<p>&lt;4. 研究の方法&gt;</p> <p>1) 当院で診断されたLCNEC症例のうち、バイオバンクでOCTコンパウンド保存が確認された20症例を免疫組織化学でYAP-1の染色強度、分布を確認します。</p> <p>2) YAP-1強陽性症例、混在症例、陰性症例を各3-4症例選別します。</p> <p>3) 上記症例のOCTコンパウンド検体の腫瘍含有量を確認します。</p> <p>4) 選別したOCTコンパウンド検体を用いて空間的トランスクリプトーム解析を実施します。</p>
<p>&lt;5. 試料・情報の項目&gt;</p> <p>「診療で採取した組織、血液をつくばヒト組織バイオバンクセンターで保管することについてのお願い」（2016年9月以降）、及び「筑波大学附属病院で診療を受けられる患者さんへ」（2010年5月～2016年9月）、「摘出組織・臓器をあなたの病気に関する病理診断以外の研究のために提供していただくためのお願い」（2010年5月以前）により同意の得られた患者試料・情報</p> <p>■組織（対象臓器：肺，対象疾患：肺がん）</p> <p><input type="checkbox"/>血液試料</p> <p><input type="checkbox"/>その他試料</p> <p><input type="checkbox"/>臨床情報（年齢、性別、感染症の有無、診断）</p>
<p>&lt;6. 試料・情報の第三者への提供について&gt;</p> <p>該当なし</p>
<p>&lt;7. 試料・情報の管理について責任を有する人&gt;</p> <p>筑波大学医学医療系 診断病理 教授 松原大祐</p>
<p>&lt;8. 研究機関名及び研究責任者名&gt;</p> <p>筑波大学医学医療系 診断病理 教授 松原大祐</p>
<p>&lt;9. 本研究への参加を希望されない場合&gt;</p> <p>患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すで研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。</p>
<p>&lt;10. 問い合わせ連絡先&gt;</p> <p>筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1</p> <p>所属・担当者名：つくばヒト組織バイオバンクセンター 担当 竹内朋代</p> <p>電話・FAX：029-853-3715（土日祝日を除く9～17時）</p> <p>メール：bank298@hosp.tsukuba.ac.jp</p>